

寺  
ごよみ

一月

一日 年頭参り  
十三日 成人のお祝い  
一四日 法要準備

御正忌  
ごしやうき

一五日  
午前十時 お講(下村)  
午後一時 日中法要  
一六日  
午前十時 お講  
午後一時 ご満座  
(浦山・枋屋・熊野大橋)

講師 高務哲量師  
(福井千福寺住職)

二〇日 仏教婦人総会  
新年会

寺報  
善巧  
ぜん ぎょう

発行  
〒938-0862 富山県  
黒部市宇奈月町浦山497  
白雪山 善巧寺  
TEL (0765) 65-0055  
FAX (0765) 65-0975  
URL <http://www.zengyou.net>

賀正



冬季期間は参拝者玄関(写真右側)よりお入りください。

ほんこさまの折に「二年はあつという間」という言葉をよく耳にします。四十歳を手前にしてその気持ちがいよいよ実感となつてきました。歳を取るごとに時間が短く感じるのはなぜでしょうか。

フランスの心理学者ポール・ジャネーによると、時間の心理的速度は年齢と反比例するとされ、十歳にとつての一年間は五十歳の五年間に相当するそうです。二歳の息子の一年が私の二十年分。日々新しい情報を新鮮に受け取り、刻一刻変化する我が子を見ていると、あなたが言い過ぎではない説に思えてきます。

日々、処理し切れない膨大な量の情報に流されて、気休めや世渡りの情報ばかりを拾って、本当に大事なことを取りこぼしているのかもしれない。「朝には紅顔ありて、夕べには白骨となれる身なり」

### 光陰矢の如し

蓮如上人は繰り返し諸行無常を説かれました。平和ボケした時代に警笛を鳴らしているのではなく、天災や飢饉で賀茂川が死体で埋め尽くされていったという時代のことです。親や兄弟、夫や妻、我が子を亡くす人もいたことでしょう。生々しく諸行無常を感じていただろう人たちに向かって、念を押すように繰り返し語られました。

無常であることを伝えるだけでは、ただ不安を煽るだけに終わりがねません。無常だからこそその救い。南无阿弥陀仏のお救いが今あなたに届いているということをお伝えにはおれなかつたことを思うと、我が身を恥じずにはおれません。今年も善巧寺の大遠忌法要です。後悔しないよううめたいです。

善巧寺住職

雪山 俊隆



永代祠堂会・  
報恩講・空華忌

昨年は本堂修復のため  
 法要の日程を変更して、  
 永代経と報恩講が続けて  
 四日間行われました。  
 十一月の空華忌は行信  
 教校より学生方が参拝さ  
 れ、修復された本堂に息  
 が吹き込まれたかのよう  
 です。法要あつての本堂  
 です。



総代↑と仏婦↓による献灯献花



仏婦バザー



お寺クイズ



恒例のお華束作りを見学される黒部からのお客様



永代経・報恩講ご講師、日置宗明先生



空華忌ご講師、若林真人先生



常福寺仏教婦人会のみなさま



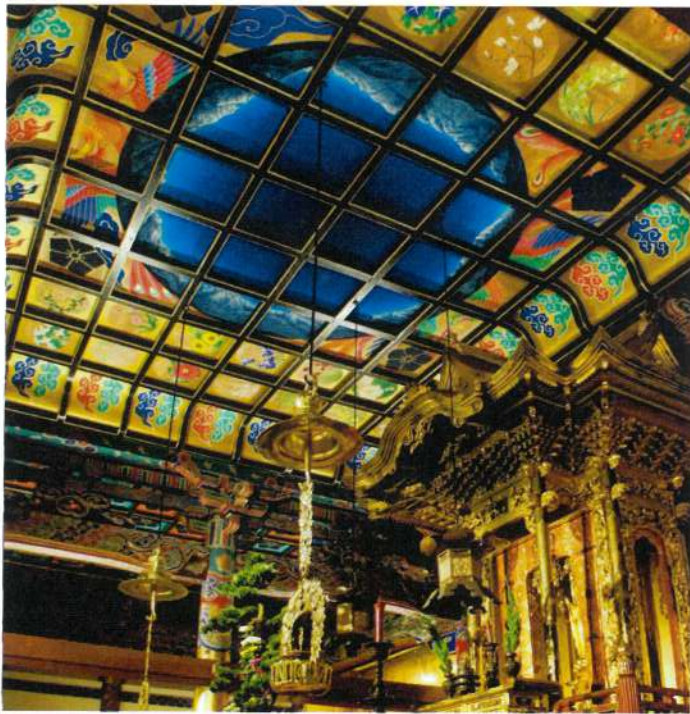


# 天井画一般公開

十月二十～二十七日

天井画の公開は、十六  
く十九日の法要でまずご  
門徒にお披露目をし、そ  
の後、より多くの方に親  
しんでいただこうと一般  
公開期間を設けました。  
おかげさまで二百名以上  
の方々がご来院。多くの  
感嘆の声をいただきました。

制作された清河恵美さ



んいわく、年々杉板の  
色が変化していく様子  
も見所のひとつと。こ  
れから百年以上内陣を  
彩る天井画を法要の折  
に何度もご覧くださ  
い。観覧はいつでも可  
能ですが、なるべく事  
前にご連絡くださるよ  
うお願い致します。  
空華忌に公開された  
お蔵は冬季閉鎖してお  
りますので、春以降に  
ご覧ください。



修復されたお蔵1F・僧銘師の遺墨などを常設展示



ゲストとイベントを支えるスタッフたち



# お寺座ライブ

十一月十七日

七回目となるお寺座ラ  
イブは、三十分足らずで  
二百枚のチケットが売り  
切れる盛況ぶり。NHK  
富山が特集をし、県内と  
中部北陸地域に放送され  
ました。

寺  
ごよみ

二月

寺  
ごよみ

三月

- |             |             |             |             |             |             |             |             |             |        |        |        |        |             |             |              |             |             |             |             |             |        |        |        |  |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|--------|--|
| 二<br>七<br>日 | 二<br>五<br>日 | 二<br>四<br>日 | 二<br>一<br>日 | 一<br>九<br>日 | 一<br>六<br>日 | 一<br>五<br>日 | 一<br>三<br>日 | 一<br>一<br>日 | 八<br>日 | 五<br>日 | 四<br>日 | 一<br>日 | 二<br>八<br>日 | 二<br>五<br>日 | 二<br>一<br>日  | 一<br>八<br>日 | 一<br>六<br>日 | 一<br>五<br>日 | 一<br>四<br>日 | 一<br>二<br>日 | 八<br>日 | 七<br>日 | 一<br>日 |  |
|             |             |             | 浦山報恩講       |             | 雪ん子定期公演     |             | 浦山報恩講       |             | 下立報恩講  |        | 浦山お講   |        | 三日市報恩講      |             | 熊野・栃屋<br>報恩講 |             | 入善報恩講       |             | 舟見報恩講       |             | 植木報恩講  |        | 浦山お講   |  |



# 御正忌

親鸞聖人の祥月命日に行われる厳粛な法要

一月十五日 午前十時 お講

午後一時 日中法要

十六日 午前十時 お講

午後一時 ご満座法要

講師 高務哲量師（福井）

## 強風被害！

今後の庭木管理に大きな課題が残りました。

強風警報が発令された十二月六日に裏庭の杉が真つ二つに折れて空華殿が大被害を受けました。現在シートで屋根を覆い、建物保険で修復予定です。

危



## 年頭参り

一月一日午前八時頃

## 御正忌準備

一月十四日午前八時半

## 雪ん子劇団

春の定期公演

三月二十四日



## 「法名」のススメ

仏教徒としての名前「法名（ほうみょう）」は、本来生前に頂くものです。浄土真宗では、親鸞聖人が「釈親鸞」と名乗られたことに習い、「釈〇〇」と漢字二文字で統一されています。京都へ納骨に行つた折に家族が受式する風習が残っている地区もありますが、事情により京都へ行かれない方も増えてきました。平成二十五年十月十二・十三日に行われる

善巧寺の大法要中、法名を頂く儀礼「帰敬式（通称おかみそり）」が行われます。おひとり一万円、希望の漢字を申請する場合は（内願）、二万円となります。またとないご縁です。どうぞお受けください。お申込みは本年より順次受付致します。稚児行列の募集は春以降にお知らせ致します。

## 冬季期間の参拝入口

今期は諸事情により本堂前の木杵雪囲いは設置致しません。お参りの際は集会所前の玄関よりお入りください。

## 合掌

新年おめでとうござい  
ます。本堂修復事業が九月に終わり道具の移動等々大変なことでしたが、永代祠堂会・報恩講・両住職回忌法要・空華忌を無事にお勤めさせていただきまし  
た。特に仏婦の皆様は十月からどつと忙しくなり各行事を懸命に進めてくださいました。年末の餅つきも初体験ながらお供えのお鏡が例年通りに出来上がりました。皆様のお力添え改めて感謝です。

◇ ◇ ◇  
私事ですが、子供と孫達が古希のお祝いをしてくださいました。平均寿命八十五才の現代ではありますが、夫隆弘を思うとやはり古希と思わざるを得ません。お寺は住職夫妻と補佐役の副住職に任せて、人生まごめの時期を楽しく有意義に過ごしたいと考えています。

（玲子）

